

静岡県月例経済報告

(平成28年11月号)

……平成28年9月を中心とした県内経済のすがた……

No. 487

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	13
・ 雇用面	15
・ その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成28年9月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

平成28年9月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱さがみられる。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、減少している。
- ・ 生産は、下げ止まりの兆しがみられる。

需 要 面

◎個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。

大型小売店販売額(9月)は、百貨店、スーパーいずれも2か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも、2か月連続で前年を下回った。

専門量販店等販売額(9月)は、ホームセンターが2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が2か月ぶり、コンビニエンスストアが3か月連続、ドラッグストアが18か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(9月)は、乗用車、軽自動車いずれも2か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも2か月連続で前年実績を上回った。

◎住宅建設は、前年を上回った。

分譲住宅が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家、貸家がいずれも3か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を上回った。

◎公共投資は、前年を上回った。

公共工事請負金額(9月)は、2か月連続で前年実績を上回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成28年10月1日)の28年度設備投資計画は、製造業で増加、非製造業で減少する計画となっており、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(9月)は、3か月連続で前年実績を上回った。

◎輸出は、減少している。

輸入は、前年を下回った。

輸出総額（9月）は、自動車¹が17か月ぶり、自動車の部分品が14か月ぶりに前年実績を上回ったものの、原動機が2か月ぶり、エアコンが3か月ぶり、二輪自動車類が4か月連続、科学光学機器が3か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも7か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額（9月）は、パルプや自動車の部分品などで前年実績を下回ったことから、全体でも10か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、908億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、下げ止まりの兆しがみられる。

鉱工業生産指数（8月）は、輸送機械が18か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械、化学がいずれも2か月ぶり、電気機械が7か月連続、パルプ・紙・紙加工品が6か月ぶり、食料品・たばこが7か月ぶりに前年水準を上回ったことから、総合でも8か月ぶりに前年を上回った。また、2か月ぶりに前月を上回った。

なお、鉱工業在庫指数（8月）は、総合では2か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率（9月）は1.36倍で、前月を0.02ポイント上回り、32か月連続で1倍を上回った。また、5か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（9月）は、38か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（8月）は、前年を下回った。

その他

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高（9月）は、前年同月比2.2%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（9月）は、前年同月比10.1%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数、負債総額いずれも前年を下回った。

企業倒産（10月）は、件数は13件で前年同月比27.7%減、負債総額は前年同月比54.5%減となり、いずれも前年実績を下回った。


<<県の取組>>

【 ふじのくに “和の食” 国際アカデミー を開催しました 】

近年、和食が国内外から注目される中、「食の都」づくりを進める本県は、世界に向けて県産農林水産物や和の食文化を発信するため、「ふじのくに “和の食” 国際アカデミー」を開催しました。

本アカデミーは、平成26年度にスタートし、3回目の開催となる今回は、料理人が台湾及びマカオから計4人、新たに取り組んだバイヤー向けプログラムに台湾から1人が参加しました。

(開催概要)

開催日	平成28年11月9日(水)～11日(金) 3日間		
対象	アジア諸国で鮭等の日本料理の提供に従事している外国人料理人等		
受講生	料理人4人(台湾:3人、マカオ:1人)、バイヤー1人(台湾)		
プログラム	午前:視察研修(産地・工場視察) 午後:日本料理・鮭の技術研修		
	日程	午前 午後	
	11/8	来静	
	11/9	(株)万城食品(三島市) (わさび加工場)	ホテルセンチュリー静岡 開講式 経済産業部長挨拶 日本料理「花凜」
	11/10	(株)マルハチ村松(焼津市) (だし調味料製造工場)	末廣鮭(静岡市清水区)
	11/11	(株)田丸屋本店わさび園(富士宮市) 富士養鱒場(富士宮市)	末広寿し本店(静岡市葵区) 入船鮭両替町店 修了式 難波副知事から修了証授与
	11/12	帰国	
	<p><バイヤー向けプログラム></p> <p>午前:視察研修(同上) 午後:企業訪問・商談</p> <p>11/9 (株)マース(茶製品メーカー、菊川市) 11/10 (株)志太泉酒造・杉井酒造(酒造メーカー、藤枝市) 11/11 静岡魚市(株)(水産物卸売業者、静岡市)</p>		
	 <p>末廣鮭(静岡市清水区)での技術研修</p>		

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

9 月 = 31,351百万円

*前年同月比： 3.5%減

(県内3百貨店、131スーパー合計)

<概況>

9月の大型小売店販売額は31,351百万円で、前年同月比3.5%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 5.2%減）、スーパー（同 3.1%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったことから、総合でも2か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（前年同月比 5.4%減）、身の回り品（同 10.9%減）、飲食料品（同 2.3%減）が2か月連続、家庭用品（同 6.0%減）が7か月連続で、いずれも前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は3.2%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額(百万円)	32,077	34,394	32,936	34,074	33,329	35,711	33,931	31,351
前年同月比(%)	3.5	0.5	1.0	▲1.1	0.0	0.7	▲2.7	▲3.5
うち百貨店(%)	2.0	▲1.4	▲2.5	▲5.1	▲3.4	1.1	▲4.9	▲5.2
スーパー(%)	3.8	1.1	1.9	▲0.1	0.9	0.5	▲2.3	▲3.1
(参考1)全国前年同月比(%)	2.2	▲1.2	▲0.7	▲2.2	▲1.5	0.6	▲3.6	▲3.2
うち百貨店(%)	0.5	▲2.8	▲3.6	▲4.8	▲3.6	▲0.2	▲6.0	▲5.0
スーパー(%)	3.1	▲0.3	0.8	▲0.8	▲0.3	1.1	▲2.6	▲2.3
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	4.8	0.5	0.1	▲1.3	0.3	0.9	▲2.9	▲3.2

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
衣料品	2.2	▲2.8	1.8	▲4.9	1.6	0.9	▲6.3	▲5.4
うち紳士服・洋品	5.9	1.5	4.5	2.7	6.2	4.1	▲2.6	▲4.5
婦人・子供服・洋品	0.0	▲4.7	0.9	▲7.5	▲0.5	0.7	▲7.4	▲5.3
身の回り品	0.2	▲3.6	▲4.9	▲5.7	▲2.3	1.3	▲4.9	▲10.9
飲食料品	4.3	1.8	1.7	▲0.3	▲0.1	0.6	▲1.2	▲2.3
家庭用品	6.8	▲5.7	▲11.2	▲3.8	▲4.6	▲2.4	▲6.7	▲6.0
うち家庭用電気機械器具	18.7	▲8.2	▲1.4	2.1	7.1	▲2.4	▲13.1	▲4.7

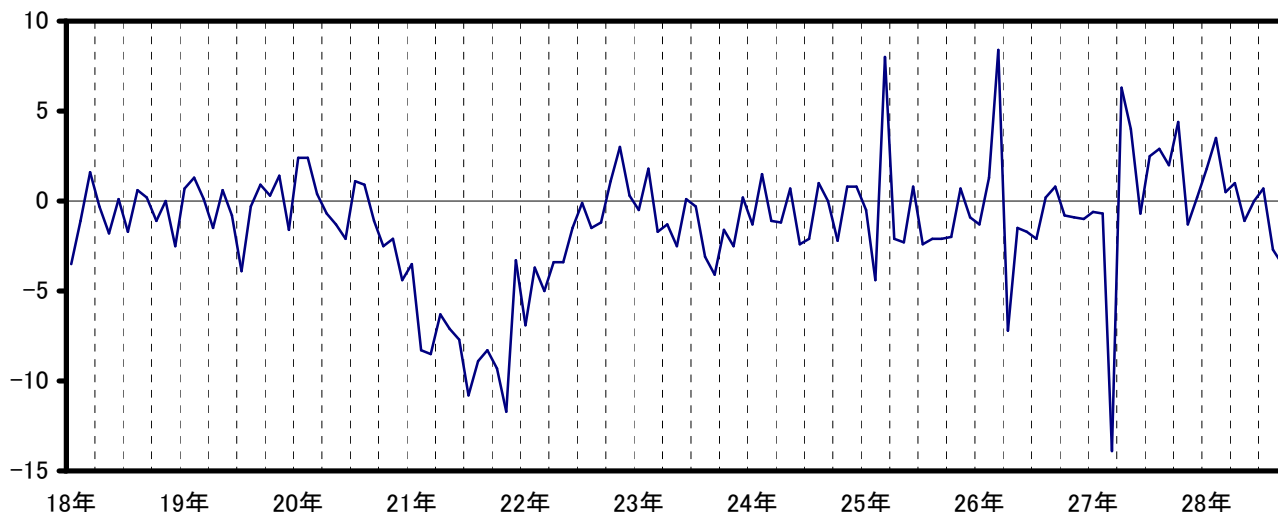
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

9月 = 5,074百万円

*前年同月比： 5.3%減

(県内3百貨店販売額)

<概況>

9月の県内3百貨店の販売額は5,074百万円で、前年同月比 5.3%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

品目別にみると、雑貨（前年同月比 0.3%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、衣料品（同 8.4%減）が11か月連続、身の回り品（同 4.6%減）、家庭用品（同 2.1%減）がいずれも2か月連続、食料品（同 4.9%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額（百万円）	5,540	6,827	5,726	5,788	5,860	7,052	5,008	5,074
前年同月比（%）	0.7	▲ 2.6	▲ 2.5	▲ 5.1	▲ 3.4	1.1	▲ 5.8	▲ 5.3
(参考)全国前年同月比（%）	0.2	▲ 2.9	▲ 3.8	▲ 5.1	▲ 3.5	▲ 0.1	▲ 6.0	▲ 5.0

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

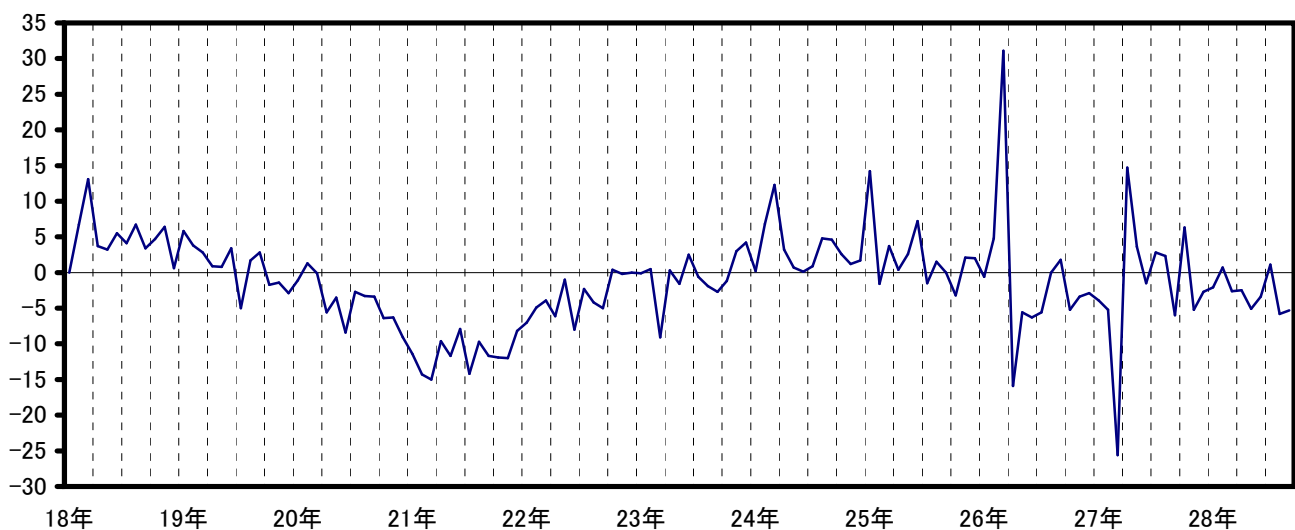
	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
衣料品	▲ 6.6	▲ 7.9	▲ 5.4	▲ 12.2	▲ 5.3	▲ 1.6	▲ 12.5	▲ 8.4
うち紳士服・洋品	▲ 9.9	▲ 5.9	▲ 7.8	▲ 8.2	▲ 10.3	▲ 5.7	▲ 23.0	▲ 9.7
婦人服・洋品	▲ 5.1	▲ 9.1	▲ 5.8	▲ 12.9	▲ 2.6	0.3	▲ 10.2	▲ 7.8
子供服・洋品	▲ 16.4	▲ 10.4	6.3	▲ 11.2	▲ 17.3	▲ 8.2	▲ 15.4	▲ 18.3
身の回り品	▲ 0.5	▲ 3.5	▲ 2.8	▲ 4.9	▲ 1.0	5.4	▲ 4.2	▲ 4.6
家庭用品	4.2	1.1	▲ 28.4	▲ 3.1	▲ 15.6	9.3	▲ 1.9	▲ 2.1
食料品	3.4	1.5	2.7	▲ 4.2	▲ 3.2	▲ 2.1	2.5	▲ 4.9
雑貨	11.0	4.4	10.1	11.4	5.2	8.4	▲ 4.5	0.3
うち美術・宝飾・貴金属	5.2	0.0	0.3	2.6	▲ 7.1	▲ 11.0	▲ 21.4	▲ 16.0

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

9月 = 61,540百万円

*前年同月比： 2.2%増

(県内88家電大型専門店、1,755コンビニエンスストア、441ドラッグストア、101ホームセンター合計)

<概況>

9月の専門量販店等販売額は61,540百万円で、前年同月比2.2%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、ホームセンター（前年同月比 3.8%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 2.5%増）が2か月ぶり、コンビニエンスストア（同 3.2%増）が3か月連続、ドラッグストア（同 3.1%増）が18か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額(百万円)	31,796	36,581	34,569	36,059	35,269	72,320	69,029	61,540
前年同月比(%)	5.5	0.6	5.2	0.2	3.4	4.1	▲0.4	2.2
うち 家電大型専門店(%)	▲0.6	▲5.5	0.5	▲1.3	7.1	0.1	▲11.7	2.5
コンビニエンスストア(%)	—	—	—	—	—	3.8	1.3	3.2
ドラッグストア(%)	10.0	5.2	8.3	2.8	3.9	5.6	3.5	3.1
ホームセンター(%)	1.4	▲1.8	3.1	▲3.7	▲1.0	6.7	▲2.5	▲3.8
(参考)全国前年同月比(%)	4.8	0.6	4.6	0.5	3.1	3.8	0.0	2.3

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

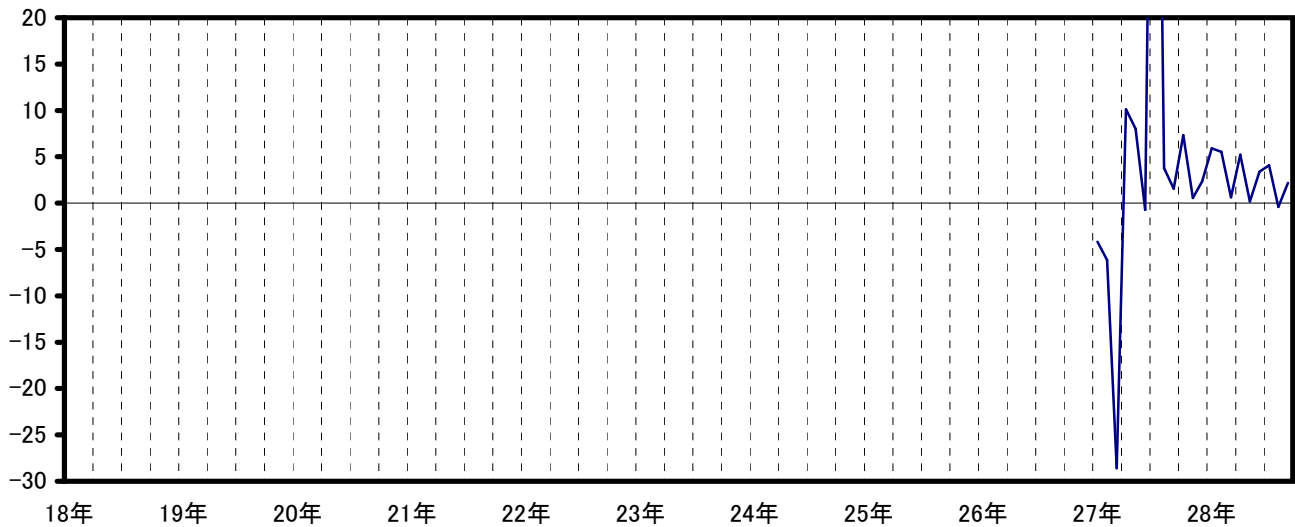
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(4) 自動車(新車)新規登録台数

9月 = 16,342台

*前年同月比： 2.8%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

9月の自動車(新車)新規登録台数は16,342台(前年同月比 2.8%増)となり、2か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(同 3.8%増)、軽自動車(同 1.7%増)いずれも2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録台数(台)	17,217	22,040	10,428	11,198	14,201	13,630	11,137	16,342
前年同月比(%)	▲ 5.3	▲ 8.4	0.5	▲ 2.0	▲ 3.5	▲ 4.1	2.3	2.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 5.2	▲ 9.3	2.2	▲ 1.4	▲ 5.6	▲ 2.2	2.9	▲ 0.7

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

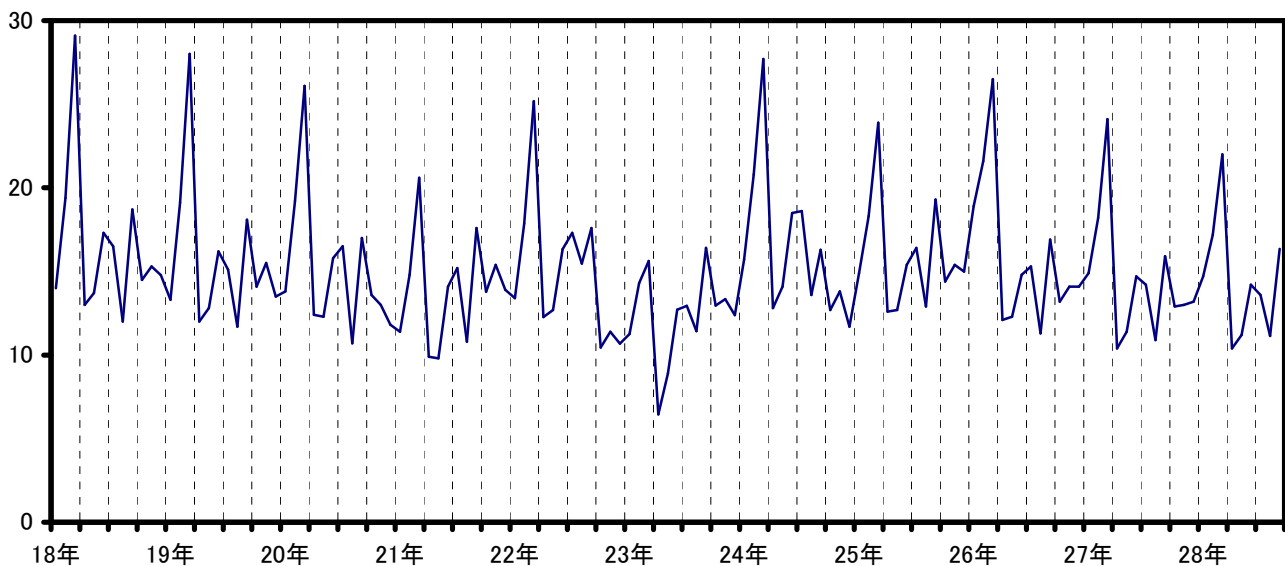
	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全乗用車	▲ 5.3	▲ 8.4	0.5	▲ 2.0	▲ 3.5	▲ 4.1	2.3	2.8
乗用車	▲ 1.9	▲ 1.0	11.6	6.6	5.5	▲ 1.1	3.3	3.8
軽自動車	▲ 8.9	▲ 16.1	▲ 11.5	▲ 12.2	▲ 14.3	▲ 8.0	1.0	1.7

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

9 月 = 2,179 戸

*前年同月比： 9.7%増

<概況>

9月の新設住宅着工戸数は2,179戸で、前年同月比 9.7%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 43.9%減）が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家（同 6.0%増）、貸家（同 63.3%増）がいずれも3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

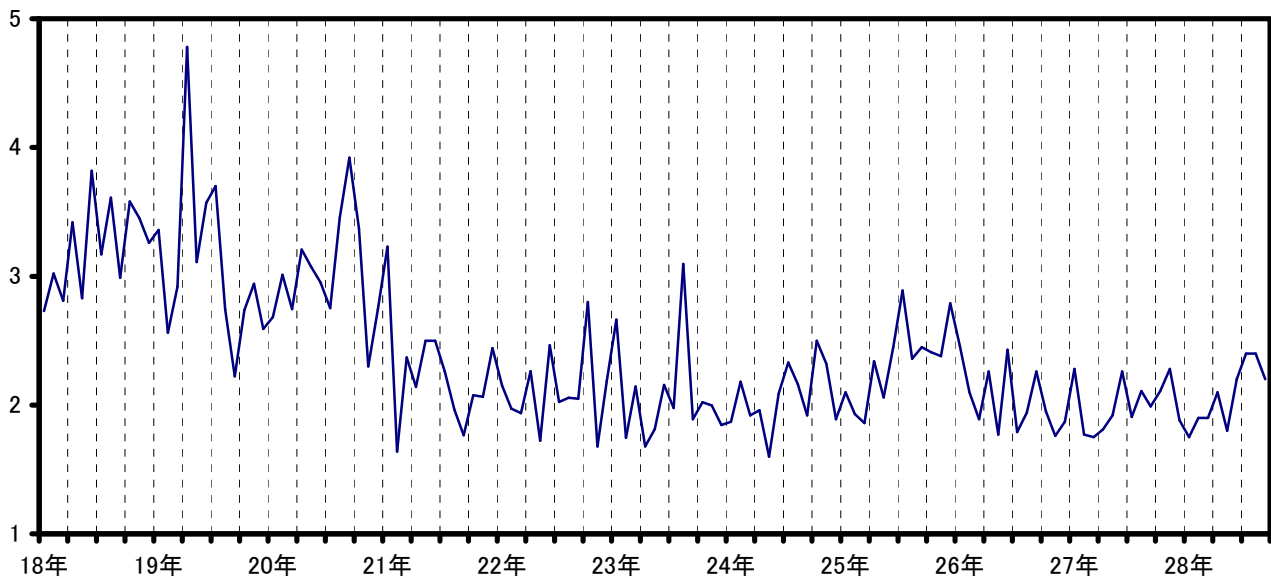
	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
戸数 (戸)	1,895	1,885	2,096	1,817	2,195	2,356	2,405	2,179
前年同月比 (%)	7.0	7.7	16.1	▲ 5.1	▲ 2.7	23.5	14.3	9.7
うち持家 (%)	▲ 9.4	2.0	▲ 9.4	▲ 0.3	▲ 12.5	13.9	7.4	6.0
貸家 (%)	9.3	9.9	33.8	21.7	▲ 6.5	28.3	10.9	63.3
分譲住宅 (%)	55.8	33.0	90.6	▲ 44.0	24.4	53.0	50.4	▲ 43.9
(参考)全国前年同月比 (%)	7.8	8.4	9.0	9.8	▲ 2.5	8.9	2.5	10.0

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

9月 = 50,377百万円

*前年同月比：47.9%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

9月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は50,377百万円で、前年同月比47.9%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は1,445件で、前年同月比27.4%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
金額（百万円）	6,499	15,013	50,393	19,103	22,745	28,013	29,515	50,377
前年同月比（%）	▲19.7	▲0.7	28.7	▲19.8	▲5.4	▲7.1	14.8	47.9
年度累計前年同月比（%）	▲4.6	▲4.4	28.7	10.3	6.0	2.6	4.8	13.1
件数（件）	159	167	478	393	631	818	885	1,445
前年同月比（%）	▲44.8	▲8.7	3.7	8.3	5.9	▲5.1	11.7	27.4
年度累計前年同月比（%）	▲3.5	▲3.6	3.7	5.7	5.8	1.7	4.3	10.5

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

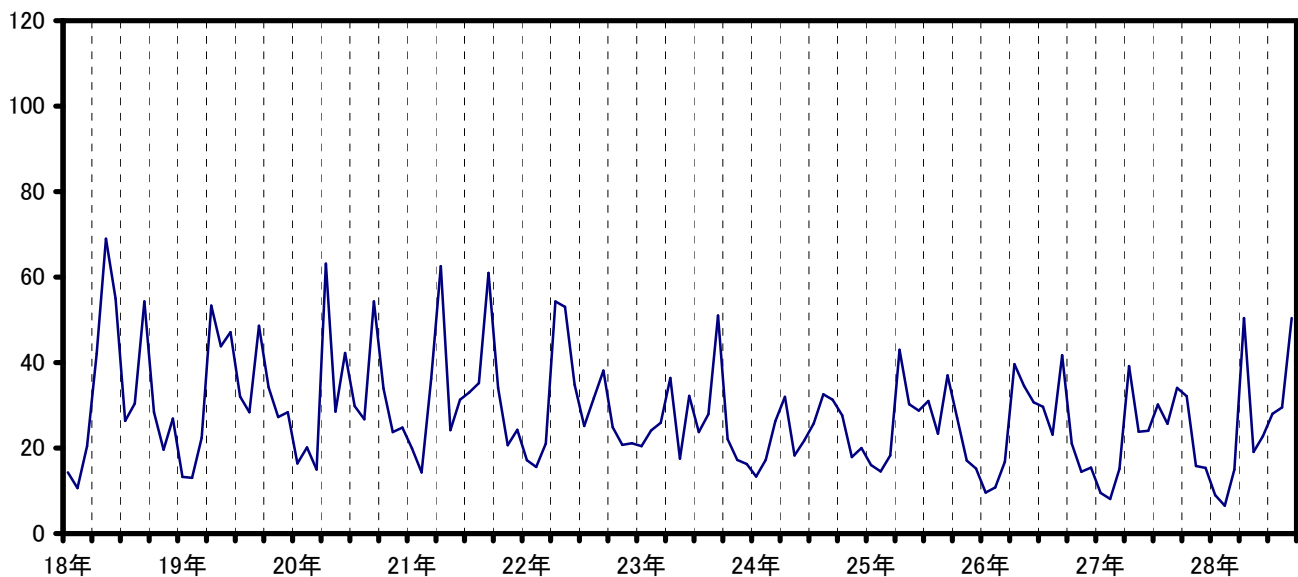
	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国	17.0	▲19.5	84.8	4.4	▲64.0	▲47.0	121.1	162.8
独立行政法人等	▲64.3	1,900.6	103.0	▲17.8	40.3	210.7	▲98.3	578.0
県	▲60.3	▲46.5	15.7	▲27.1	▲3.0	▲30.4	44.7	20.0
市町	▲10.6	▲17.6	▲15.0	▲32.5	10.0	10.8	0.0	41.9
地方公社	—	—	—	9,445.5	—	—	▲41.9	▲43.5
その他	87.8	90.3	98.8	▲20.0	0.8	▲16.6	11.3	▲63.5

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成27年度の設備投資（実績）は、製造業（前年度比 17.1%増）、非製造業（同 1.8%増）ともに増加したことから、全産業（同 9.6%増）でも増加となった。

平成28年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 13.6%増）で増加、非製造業（同 1.6%減）で減少、全産業（同 6.6%増）では増加する計画となっている。

9月の着工建築物床面積（非居住用）は171,169㎡で、前年同月比 35.1%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>

（前年度比% （ ）内は前回調査比修正率）

		27年度 (実績)	28年度 (計画)		28年度 (計画)	28年度 (計画)	
			上期 (実績)	下期 (実績)		上期 (計画)	下期 (計画)
全産業	県	9.6	13.4	6.5	(▲2.6) 6.6	(▲9.5) 4.0	(3.9) 8.8
	全国	5.0	4.2	5.6	(1.3) 1.7	(▲1.0) 8.3	(3.4) ▲3.4
製造業	県	17.1	22.7	13.2	(▲3.2) 13.6	(▲13.7) 7.9	(5.5) 17.7
	全国	9.1	7.1	10.7	(0.2) 6.1	(▲4.2) 13.8	(4.3) 0.3
非製造業	県	1.8	5.3	▲1.3	(▲1.8) ▲1.6	(▲4.5) 0.2	(1.2) ▲3.3
	全国	2.9	2.7	3.1	(1.9) ▲0.6	(0.9) 5.5	(2.8) ▲5.3

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年9月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成28年9月調査)」

<最近の動き>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	82,939	154,306	89,979	67,384	99,402	108,356	186,104	171,169
前年同月比（%）	▲0.6	151.3	▲14.4	▲32.6	▲25.2	10.6	105.9	35.1
(参考) 全国前年同月比（%）	▲12.0	12.7	▲22.0	19.0	4.2	▲19.1	16.7	10.8

(注) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	28年6月	28年9月	28年12月 (予測)
全産業	3	1	▲3
製造業	▲2	0	▲1
非製造業	7	3	▲4
(参考) 全国・全産業	4	5	2

(注) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年9月調査)」

5 輸出

9月 = 164,288百万円

*前年同月比： 3.0%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

9月の清水税関支署管内の輸出総額は164,288百万円で、前年同月比 3.0%減となり、7か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 87.9%増）が17か月ぶり、自動車の部分品（同 11.2%増）が14か月ぶりに前年実績を上回ったものの、原動機（同 5.5%減）が2か月ぶり、エアコン（同 11.9%減）が3か月ぶり、二輪自動車類（同 29.3%減）が4か月連続、科学光学機器（同 10.4%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、米国向け（前年同月比 7.0%減）が6か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 4.7%増）が2か月連続、EU向け（同 0.3%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸出総額(百万円)	168,867	179,315	167,022	139,497	156,025	160,716	145,084	164,288
前年同月比(%)	3.5	▲ 1.7	▲ 3.1	▲ 4.8	▲ 7.7	▲ 11.7	▲ 8.9	▲ 3.0

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原動機	16.9	27.9	5.3	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 1.2	2.7	▲ 5.5
エアコン	▲ 11.0	▲ 19.1	▲ 1.9	▲ 4.1	▲ 6.7	20.5	28.9	▲ 11.9
自動車	▲ 25.9	▲ 19.8	▲ 9.5	▲ 34.3	▲ 1.2	▲ 38.7	▲ 41.0	87.9
自動車の部分品	▲ 4.8	▲ 4.8	▲ 12.9	▲ 2.9	▲ 9.3	▲ 8.7	▲ 2.8	11.2
二輪自動車類	▲ 3.1	▲ 2.7	14.1	14.2	▲ 11.1	▲ 9.2	▲ 27.0	▲ 29.3
科学光学機器	67.3	45.3	6.5	▲ 8.0	10.0	▲ 24.6	▲ 12.2	▲ 10.4

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	6.7	▲ 4.5	▲ 4.1	▲ 4.6	▲ 2.1	▲ 13.7	1.0	4.7
米国	4.3	5.9	▲ 5.6	▲ 14.7	▲ 7.1	▲ 5.4	▲ 14.7	▲ 7.0
EU	13.0	12.1	18.1	27.4	▲ 7.6	4.0	1.7	0.3

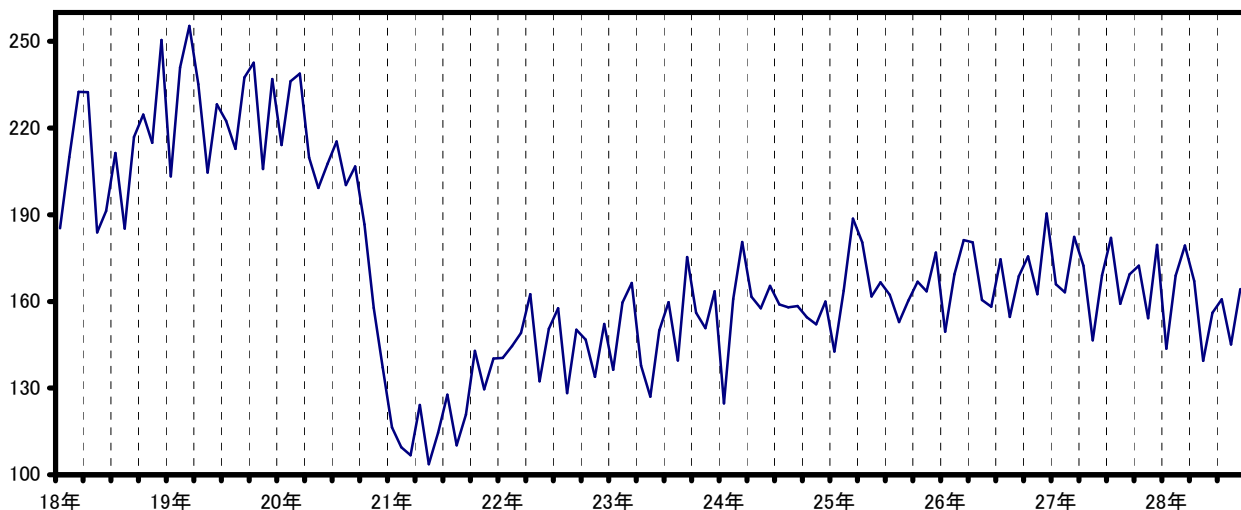
<資料>清水税関支署

(注)管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

9月 = 73,465百万円

*前年同月比： 9.8%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

9月の清水税関支署管内の輸入総額は73,465百万円で、前年同月比 9.8%減となり、10か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 30.2%増）が2か月連続、原動機（同 13.1%増）が5か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類（同 14.4%減）が4か月連続、木材（同 7.5%減）、パルプ（同 13.3%減）がいずれも9か月連続、自動車の部分品（同 1.7%減）が8か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 8.7%減）が2か月ぶり、米国から（同 22.6%減）が7か月連続、EUから（同 31.7%減）が9か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸入総額(百万円)	76,372	77,666	70,712	78,990	70,881	67,656	75,299	73,465
前年同月比(%)	▲ 10.7	▲ 11.0	▲ 21.6	▲ 0.7	▲ 13.3	▲ 21.5	▲ 4.5	▲ 9.8

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
魚介類	▲ 0.4	10.0	▲ 6.9	13.5	▲ 13.8	▲ 0.2	▲ 6.5	▲ 14.4
木材	▲ 12.9	▲ 10.1	▲ 34.4	▲ 10.7	▲ 15.0	▲ 19.8	▲ 8.3	▲ 7.5
パルプ	▲ 13.4	▲ 29.7	▲ 29.6	▲ 9.0	▲ 27.5	▲ 45.8	▲ 23.9	▲ 13.3
紙類及び同製品	24.9	42.7	▲ 6.7	▲ 1.2	24.8	▲ 3.9	1.1	30.2
原動機	▲ 51.6	99.8	▲ 55.3	39.9	53.7	45.7	169.5	13.1
自動車の部分品	▲ 42.4	▲ 36.2	▲ 42.7	▲ 37.7	▲ 26.3	▲ 42.5	▲ 0.3	▲ 1.7

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

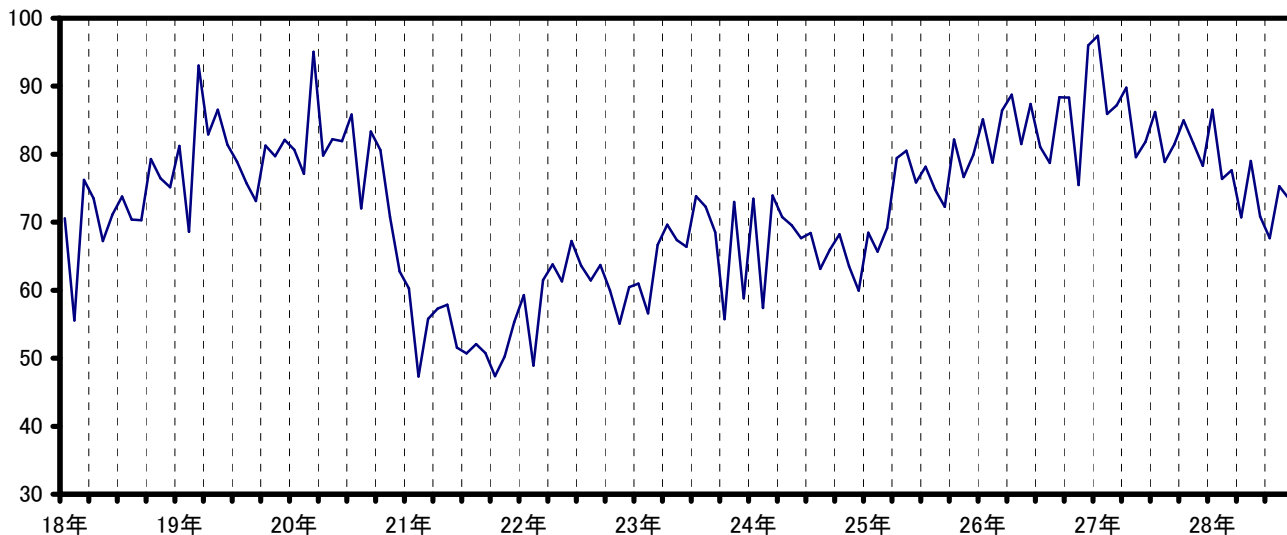
	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	▲ 11.6	5.9	▲ 11.3	1.2	▲ 10.5	▲ 16.8	0.2	▲ 8.7
米国	4.7	▲ 10.1	▲ 18.1	▲ 14.9	▲ 10.0	▲ 25.9	▲ 9.4	▲ 22.6
EU	▲ 10.1	▲ 20.4	▲ 35.4	▲ 19.6	▲ 23.1	▲ 7.8	▲ 4.4	▲ 31.7

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

8月 = 90.0

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.9%増

*前年同月比(原指数) : 4.5%増

<概況>

8月の鉱工業生産指数(総合)は90.0(季節調整済指数)で、前月比1.9%増となり、2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は4.5%増と8か月ぶりに前年を上回った。

業種別にみると、輸送機械(前年同月比4.0%減)が18か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同11.5%増)が2か月ぶり、電気機械(同15.9%増)が7か月連続、化学(同8.7%増)が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同6.7%増)が6か月ぶり、食料品・たばこ(同1.3%増)が7か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	91.3	89.0	89.3	93.0	86.8	88.8	88.3	90.0
前月比(%)	▲4.0	▲2.5	0.3	4.1	▲6.7	2.3	▲0.6	1.9
前年同月比(%)	▲3.8	▲3.6	▲4.7	▲1.6	▲0.4	▲4.1	▲5.4	4.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.8	▲1.5	▲5.2	▲3.5	▲0.1	▲1.9	▲3.8	4.6

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
はん用・生産用・業務用機械工業	0.6	▲13.5	▲3.3	▲0.5	▲3.4	3.1	▲4.6	11.5
電気機械工業	▲2.8	4.9	12.8	2.8	7.5	7.1	2.5	15.9
輸送機械工業	▲18.7	▲20.9	▲30.6	▲11.7	▲8.9	▲15.1	▲11.9	▲4.0
化学工業	27.9	32.2	41.5	16.7	17.3	5.8	▲4.8	8.7
パルプ・紙・紙加工品工業	▲1.5	1.4	▲2.6	▲2.1	▲0.4	▲4.3	▲3.2	6.7
食料品・たばこ工業	0.9	▲0.3	▲2.8	▲3.6	▲3.9	▲10.6	▲4.9	1.3

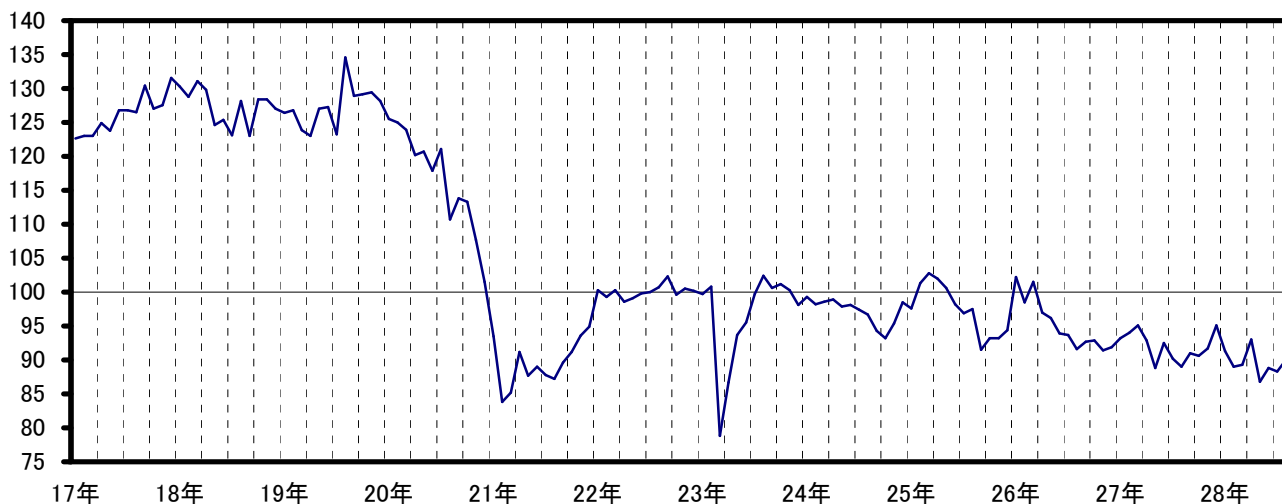
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

8月 = 119.3

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.2%減

*前年同月比(原指数) : 2.1%増

<概況>

8月の鋳工業在庫指数(総合)は119.3(季節調整済指数)で、前月比は0.2%減と2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は2.1%増と2か月連続で前年を上回った。
 なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。
 業種別にみると、輸送機械(前年同月比19.6%減)が5か月連続、食料品・たばこ(同9.0%減)が6か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同0.8%増)が5か月連続、電気機械(同21.3%増)が32か月連続、化学(同0.1%増)が13か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.5%増)が3か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	121.6	125.0	125.9	121.9	118.2	116.4	119.5	119.3
前月比(%)	▲1.1	2.8	0.7	▲3.2	▲3.0	▲1.5	2.7	▲0.2
前年同月比(%)	21.2	19.0	12.3	9.1	6.0	0.0	4.1	2.1
(参考)全国前年同月比(%)	0.2	▲0.9	▲0.2	0.1	0.6	0.0	▲1.8	▲1.8

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲10.2	▲3.0	▲8.5	2.6	2.4	0.4	6.0	0.8
電気機械工業	24.4	23.1	24.8	16.7	14.6	25.5	26.9	21.3
輸送機械工業	130.7	69.1	41.3	▲0.4	▲10.1	▲24.9	▲11.8	▲19.6
化学工業	11.5	17.3	14.1	13.6	4.2	1.3	3.5	0.1
パルプ・紙・紙加工品工業	13.5	10.0	6.0	1.9	1.8	▲4.2	▲3.1	1.5
食料品・たばこ工業	6.3	7.6	▲3.4	▲14.1	▲9.5	▲12.0	▲2.8	▲9.0

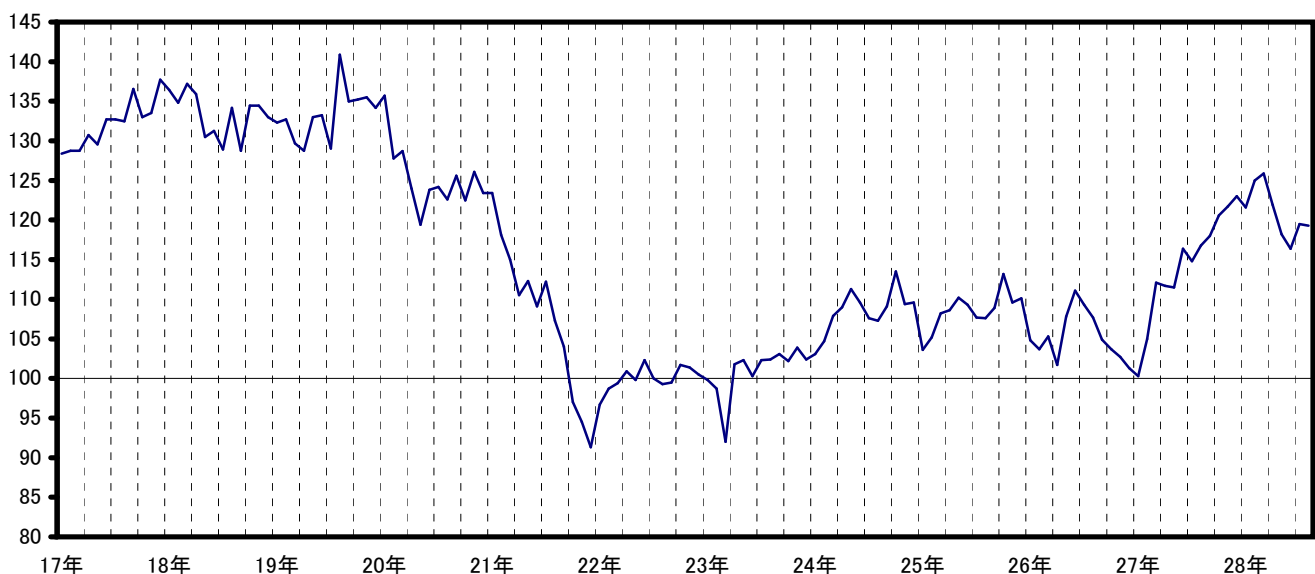
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

9 月 = 1.36倍

*前月比 (季節調整値) : 0.02ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

9月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.36倍となり、前月を0.02ポイント上回った。また、5か月連続で全国値を下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比4.2%増)は8か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比28.7%減)が11か月連続、卸売・小売業(同10.9%減)が11か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業(同8.7%増)が8か月連続、製造業(同27.5%増)が11か月連続、運輸業・郵便業(同2.4%増)が3か月連続、医療・福祉(同1.6%増)が2か月ぶり、サービス業(他に分類されないもの)(同2.2%増)が7か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
県	1.25	1.27	1.36	1.35	1.34	1.36	1.34	1.36
全 国	1.28	1.30	1.34	1.36	1.37	1.37	1.37	1.38

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
建 設 業	0.8	11.0	5.1	6.3	5.1	3.4	6.0	8.7
製 造 業	4.6	11.0	9.2	8.9	6.6	2.8	16.7	27.5
情 報 通 信 業	▲ 13.1	▲ 17.9	▲ 32.0	▲ 40.3	▲ 14.8	▲ 12.5	▲ 52.6	▲ 28.7
運 輸 業 ・ 郵 便 業	8.0	▲ 0.6	▲ 5.2	12.6	▲ 5.9	7.6	3.9	2.4
卸 売 業 ・ 小 売 業	59.3	28.0	12.0	64.3	6.6	11.5	57.1	▲ 10.9
医 療 ・ 福 祉	9.8	▲ 1.9	5.2	▲ 3.8	▲ 0.5	7.2	▲ 3.9	1.6
サービス業(他に分類されないもの)	▲ 5.3	11.4	20.0	15.8	13.0	3.0	29.9	2.2
合 計	11.1	7.9	5.6	9.1	2.4	3.7	11.0	4.2

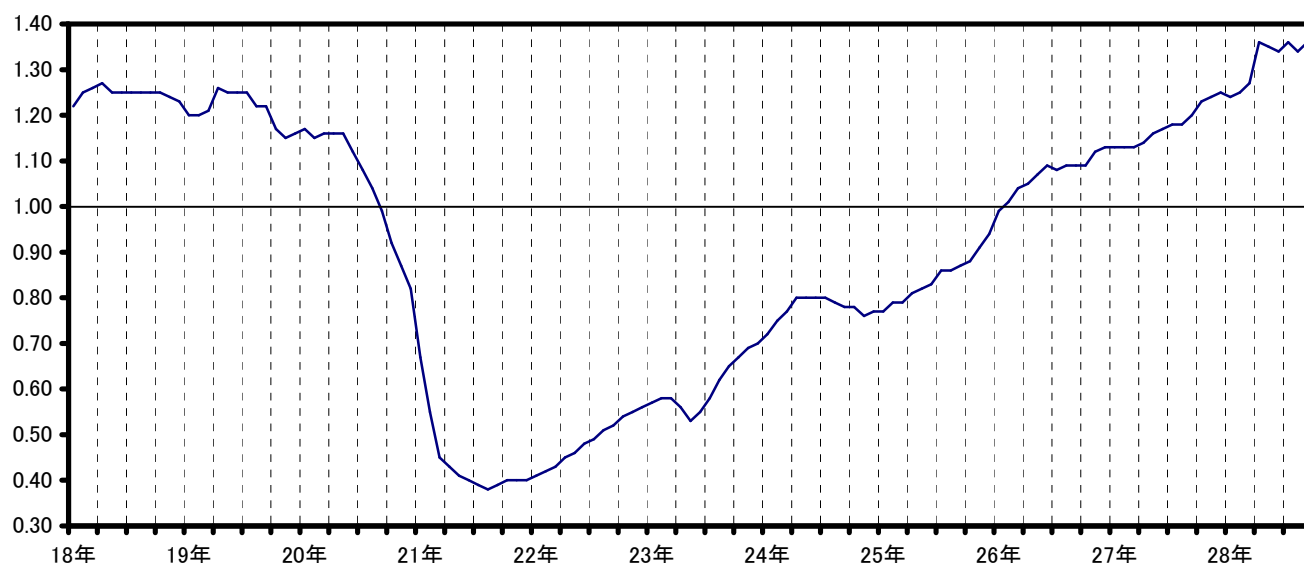
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

9月 = 12,696人

*前月比: 4.6%減

*前年同月比: 12.7%減

<概況>

9月の雇用保険受給者実人員は12,696人で、前月比は4.6%減と5か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は12.7%減と38か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は3.0%で、前月から0.1ポイント改善した。

静岡県(平成28年4~6月)の完全失業率は2.6%で、前期(28年1~3月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人員(人)	12,042	11,671	11,113	11,955	12,519	12,580	13,302	12,696
前月比(%)	▲3.9	▲3.1	▲4.8	7.6	4.7	0.5	5.7	▲4.6
前年同月比(%)	▲8.7	▲9.8	▲12.8	▲13.2	▲14.0	▲15.9	▲10.2	▲12.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲4.6	▲6.0	▲8.9	▲5.5	▲7.5	▲10.5	▲3.7	▲8.0

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完全失業率(全国)(%)	3.3	3.2	3.2	3.2	3.1	3.0	3.1	3.0

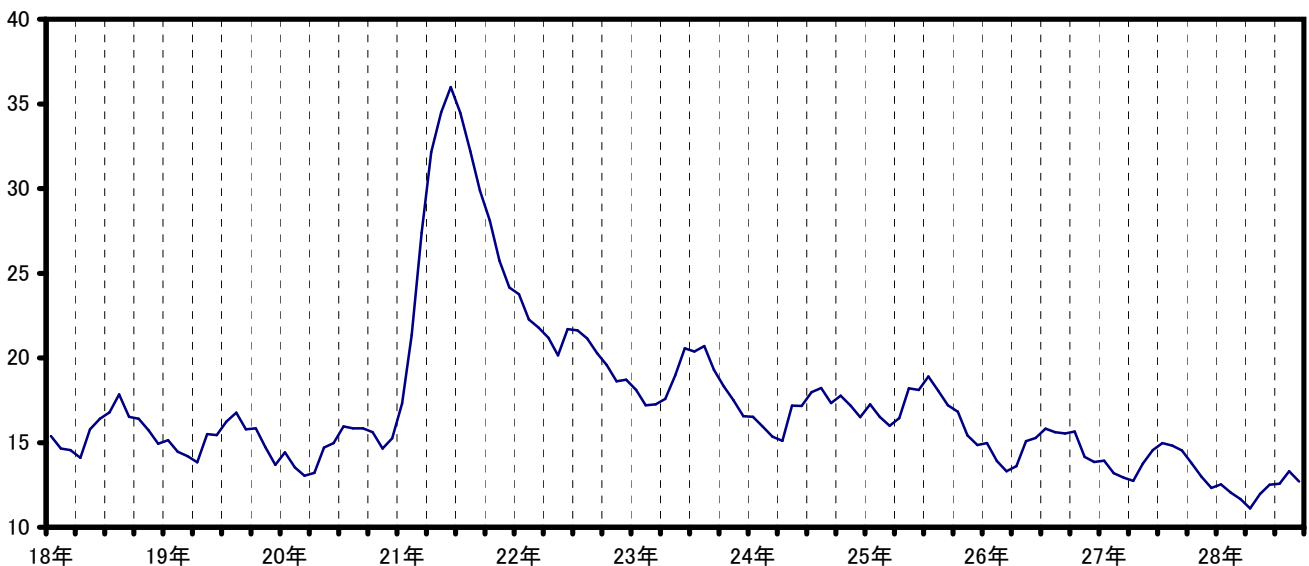
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

8月 = 105.9

*前月比(季節調整済指数): 6.1%減

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 0.8%減

<概況>

8月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は105.9(季節調整済指数)で、前月比6.1%減となった。また、前年同月比(原指数)は0.8%減となり、5か月ぶりに前年を下回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比1.3%増)が2か月ぶり、その他のサービス業(同13.2%増)が4か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同9.7%減)、製造業(同1.1%減)、運輸業・郵便業(同2.1%減)がいずれも2か月ぶり、卸売業・小売業(同17.6%減)が2か月連続、医療・福祉(同4.4%減)が6か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	108.6	111.5	107.1	112.5	115.5	114.8	112.8	105.9
前月比(%)	▲2.2	2.7	▲3.9	5.0	2.7	▲0.6	▲1.7	▲6.1
前年同月比(%)	▲2.7	0.0	▲2.0	5.5	9.9	7.2	5.9	▲0.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.1	▲1.6	▲0.7	▲0.7	▲2.4	▲0.8	▲1.6	▲2.5

*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
建設業	▲31.6	▲31.5	▲33.9	▲37.5	▲13.5	▲0.6	13.7	▲9.7
製造業	▲1.1	▲3.9	▲7.0	3.8	1.8	▲2.2	2.2	▲1.1
情報通信業	32.4	▲7.8	▲9.1	5.4	4.9	1.1	▲9.1	1.3
運輸業・郵便業	▲10.6	▲1.6	▲9.9	1.3	2.1	▲4.3	2.9	▲2.1
卸売業・小売業	▲28.7	▲11.0	11.4	0.0	15.5	0.0	▲26.8	▲17.6
医療・福祉	▲19.4	▲13.9	6.9	14.9	9.9	20.3	4.3	▲4.4
その他のサービス業	6.5	6.4	▲1.6	▲7.7	6.8	8.6	3.2	13.2
調査産業計	▲2.7	0.0	▲2.0	5.5	9.9	7.2	5.9	▲0.8

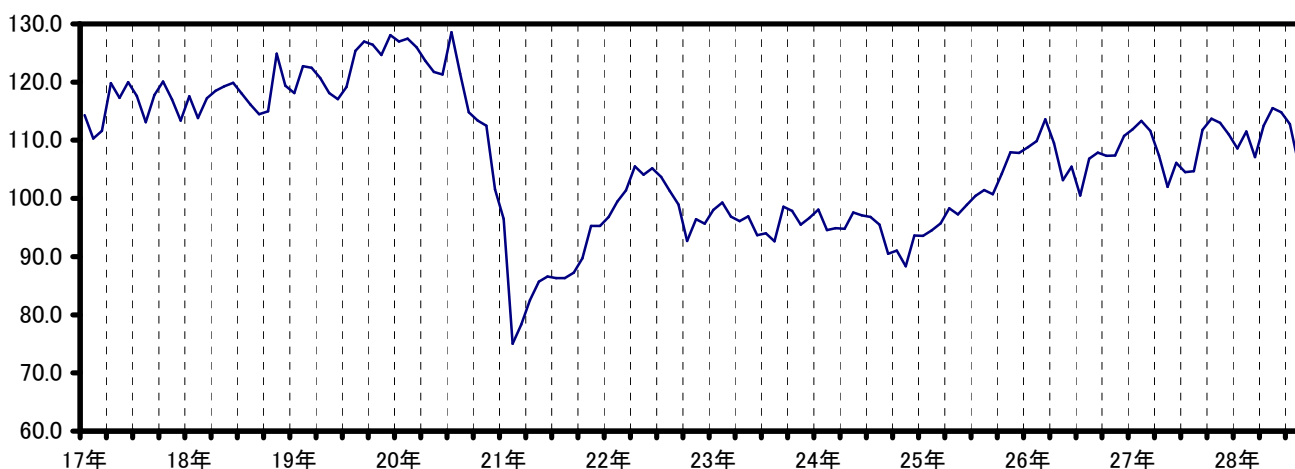
*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

10月 = 98.7

(平成22年=100)

*前月比: 0.1%下落

*前年同月比: 2.7%下落

<概況>

10月の国内企業物価指数は98.7となり、前月比は0.1%の下落となった。また、前年同月比は2.7%の下落となった。

<最近の動き>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国内企業物価指数	99.6	99.2	99.3	99.2	99.2	98.9	98.8	98.7
前月比 (%)	▲ 0.1	▲ 0.4	0.1	▲ 0.1	0.0	▲ 0.3	0.0	▲ 0.1
前年同月比 (%)	▲ 3.8	▲ 4.2	▲ 4.3	▲ 4.2	▲ 3.9	▲ 3.6	▲ 3.2	▲ 2.7

*平成22年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

9月 = 137,793億円

(銀行、信用金庫)

*前月比: 1.3%増

*前年同月比: 2.2%増

<概況>

9月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は137,793億円で、前月比は1.3%の増加となり、前年同月比は2.2%の増加となった。

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出残高(億円)	135,700	138,097	135,831	135,574	136,065	136,020	135,981	137,793
前月比 (%)	▲ 0.3	1.8	▲ 1.6	▲ 0.2	0.4	0.0	0.0	1.3
前年同月比 (%)	2.6	2.5	2.3	2.2	2.5	2.7	2.7	2.2

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

9月 = 2.144%

(県内地銀4行総平均)

*前月差: 0.010ポイント減

*前年同月差: 0.004ポイント減

<概況>

9月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.144%で、前月から0.01ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.004ポイントのマイナスとなった。

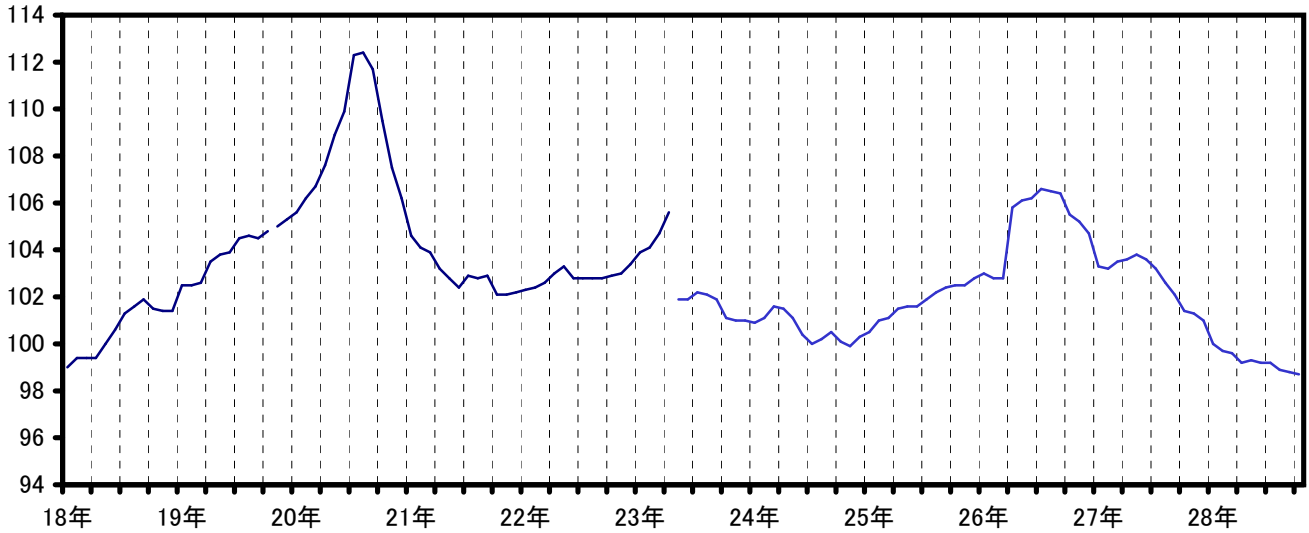
	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出約定金利 (%)	2.164	2.145	2.156	2.152	2.153	2.155	2.154	2.144
前月差(ポイント)	0.005	▲ 0.019	0.011	▲ 0.004	0.001	0.002	▲ 0.001	▲ 0.010
前年同月差(ポイント)	0.022	0.021	0.019	0.015	0.000	▲ 0.004	▲ 0.008	▲ 0.004

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

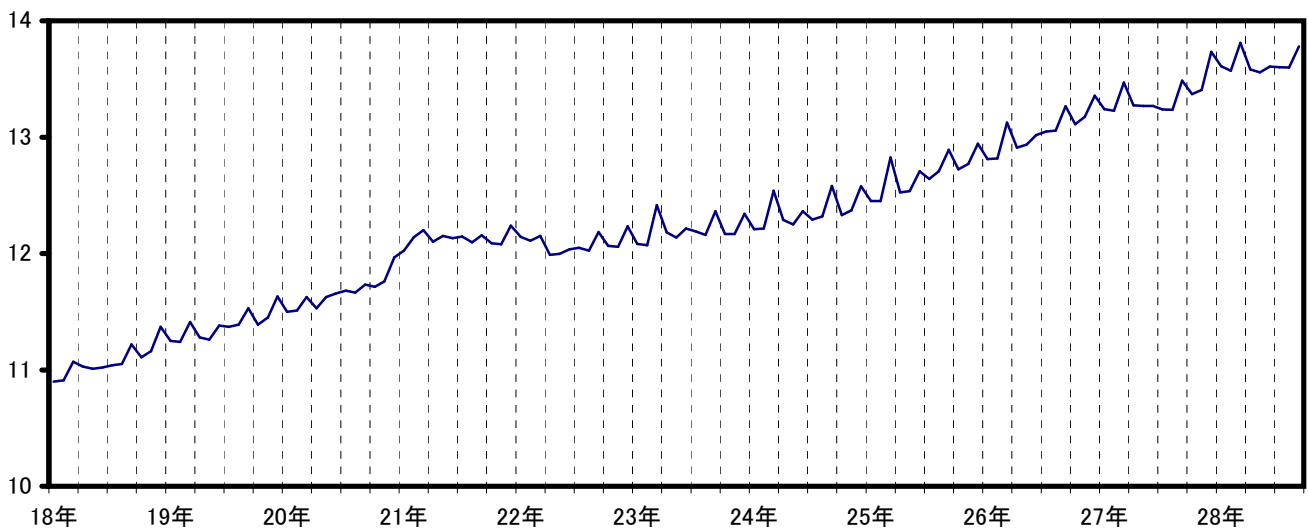
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



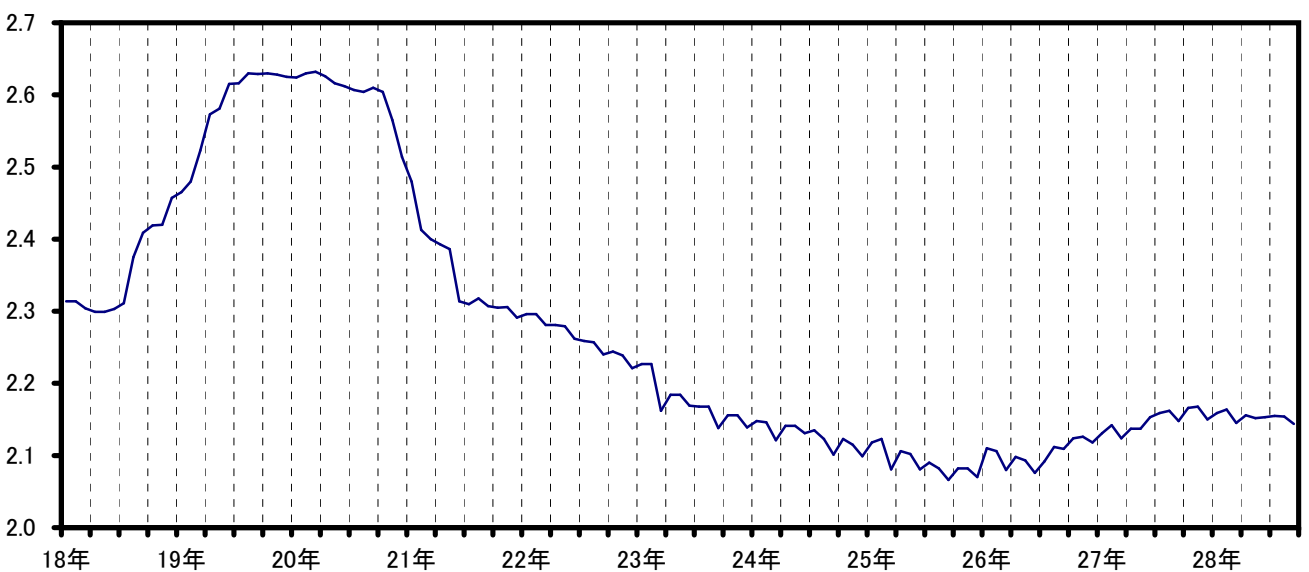
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**9月 = 23,295百万円**

*前年同月比： 10.1%減

<概況>

9月の保証承諾は、金額が23,295百万円（前年同月比 10.1%減）と前年を下回り、件数は2,319件（同 12.0%減）と18か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
保証金額（百万円）	18,631	24,978	14,208	17,302	23,147	20,714	22,578	23,295
前年同月比（%）	▲ 12.0	▲ 19.1	▲ 15.9	0.0	▲ 3.5	▲ 5.9	10.9	▲ 10.1
保証件数（件）	2,029	2,621	1,600	1,835	2,324	2,009	2,172	2,319
前年同月比（%）	▲ 13.3	▲ 18.5	▲ 13.8	▲ 6.2	▲ 11.9	▲ 15.1	▲ 2.7	▲ 12.0

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**10月 = 103.82円/ドル**

*前月差： 1.78円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 16.24円高

<概況>

10月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は103.82円で、前月と比べて1.78円の円安となり、2か月連続の円安となった。

<最近の動き>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平均相場（円）	113.07	109.88	109.15	105.49	103.90	101.27	102.04	103.82
前月差（円）	▲ 1.95	▲ 3.19	▲ 0.73	▲ 3.66	▲ 1.59	▲ 2.63	0.77	1.78
前年同月差（円）	▲ 7.32	▲ 9.67	▲ 11.59	▲ 18.26	▲ 19.33	▲ 21.96	▲ 18.18	▲ 16.24

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****10月 = 13件**

*前年同月比： 27.7%減

<概況>

10月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は13件（前年同月比 27.7%減）、負債総額は1,631百万円（同 54.5%減）となり、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が12件と全体の92.3%を占め、227か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

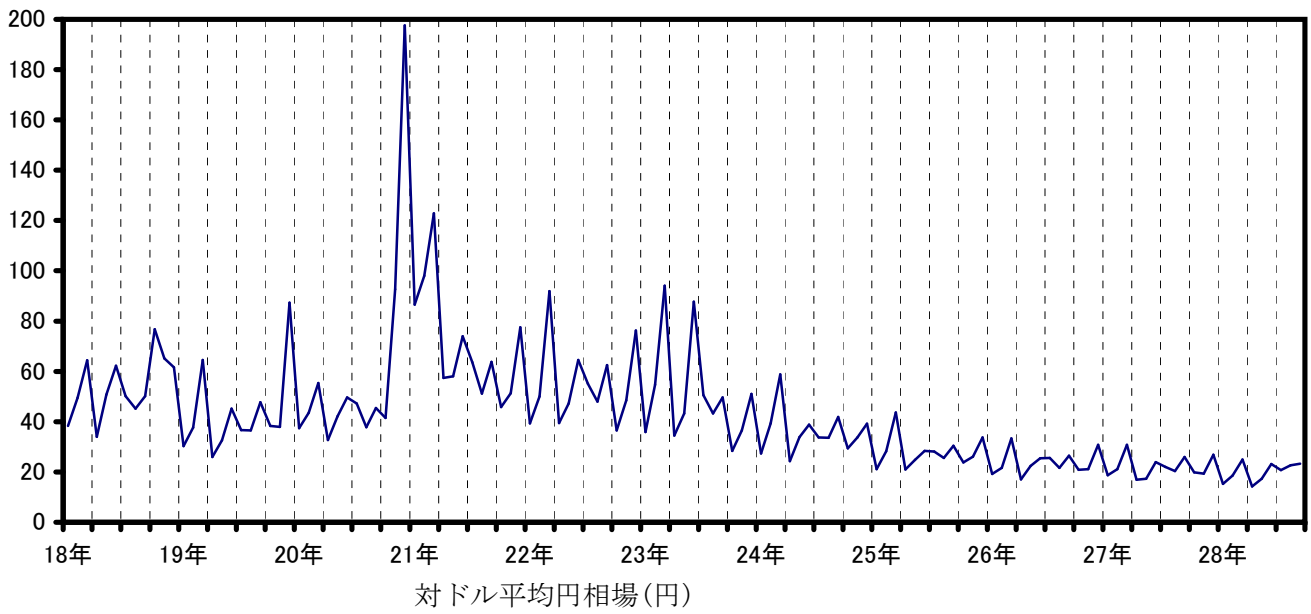
	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
倒産件数（件）	25	12	35	31	36	19	22	13
前年同月比（%）	8.6	▲ 52.0	66.6	47.6	56.5	5.5	▲ 18.5	▲ 27.7
うち不況型倒産件数（件）	21	11	33	27	33	18	19	12
負債総額（百万円）	2,899	1,704	8,797	5,095	8,498	2,065	2,315	1,631
前年同月比（%）	▲ 2.8	▲ 57.4	205.6	▲ 40.7	113.2	8.7	▲ 30.7	▲ 54.5

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

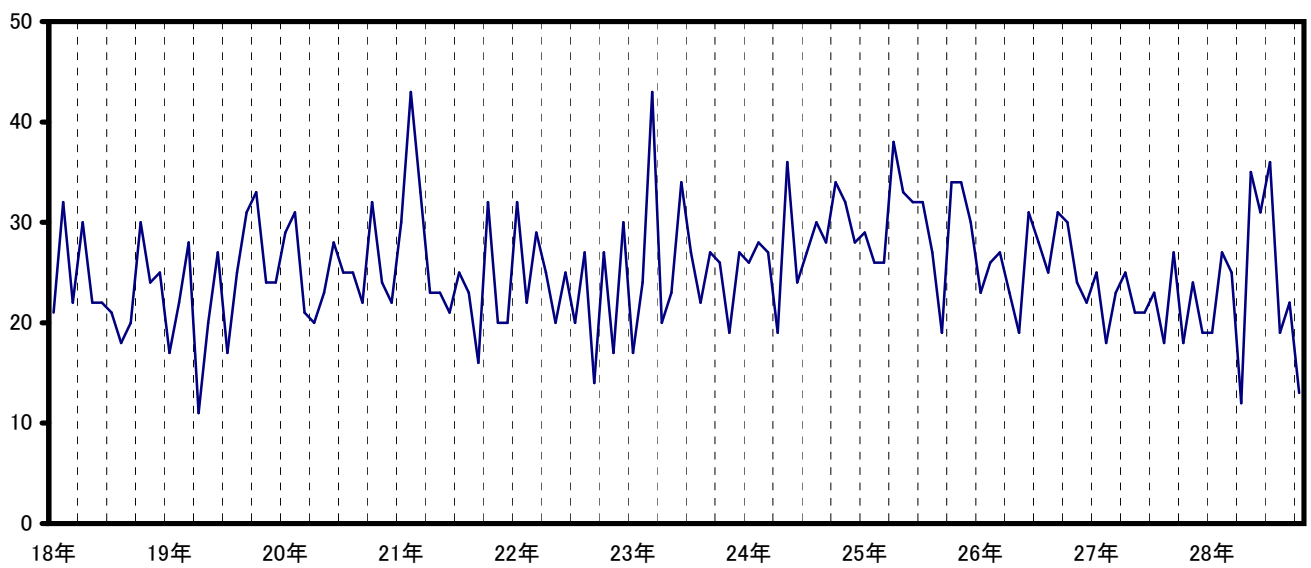
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成28年9月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>9月の国内二輪車生産台数は、43,741台（前年同月比 3.3%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、10,548台（同 55.5%増）と2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、軽二輪車（126cc～250cc）は、5,200台（同 43.9%減）、小型二輪車（251cc以上）は、25,450台（同 4.4%減）と前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは32,670台（同 13.6%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>輸出向けも、25,902台（同 16.9%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>9月の自動車国内生産台数は840,891台（前年同月比 1.4%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。また、輸出は435,028台（同 3.8%増）となり、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、乗用車が2か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>9月の冷蔵庫の国内出荷額は427億2,000万円（前年同月比 1.9%増）、国内出荷台数は358千台（同 3.2%増）で、いずれも2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>9月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは469千台（同 4.3%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。業務用は69千台（同 0.3%増）で、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>8月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた携帯電話の国内出荷台数は、1,234千台（同 16.2%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、490千台（同 4.4%減）となった。なお、単月のスマートフォン比率は39.7%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>9月の工作機械の受注総額は、1,028億5,100万円（前年同月比 6.3%減）で、14か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は573億3,000万円（同 7.3%減）で、16か月連続で前年実績を下回った。特に、アジア向けが227億7,600万円（同 20.3%減）で、16か月連続で前年実績を下回った。内需は455億2,100万円（同 4.9%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、自動車業界の先行き不透明感の強まりから、国内の機械設備需要が減退傾向にあり経営者の多くが危機感を抱いているという声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>9月の県内楽器メーカーの販売金額は、54億1,200万円（前年同月比 5.5%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが28億2,100万円（同 19.4%減）で、国内向けが25億9,100万円（同 16.3%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,211台（同 9.0%増）であった。機種別では、アップライトピアノが2,170台（同 15.4%増）、グランドピアノが1,041台（同 2.3%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,349台（同 7.8%増）、国内向けが1,190台（同 5.3%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>9月の紙・板紙の国内出荷高は、2,110千トン（前年同月比 0.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。内訳は、紙は1,170千トン（同 0.3%減）で、前月の増加から減少に転じ、前年実績を下回った。板紙は940千トン（同 2.1%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、661千トン（同 0.7%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、152千トン（同 0.8%増）と、18か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>9月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,069千箱（前年同月比 18.0%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は800千箱（同 9.7%増）で2か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶も579千箱（同 7.0%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は270千箱（同 51.7%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,146千箱（同 0.2%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>9月の広幅織物の県内生産は、1,458千㎡（前年同月比 8.2%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,389千㎡（同 6.0%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、69千㎡（同 85.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、30千㎡（同 24.7%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>9月の全国百貨店での家具販売額は、48億3,733万円（前年同月比 18.8%減）で7か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、409億8,458万円（同 1.7%減）と2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>9月の県内百貨店の売上高は、前年に比べて祝日が一日少ないことに加え、平均気温が高めに推移した影響で、対前年比5.3%減となった。</p> <p>商品別では、化粧品が同14.5%増と好調を継続したが、主力の衣料品を中心に全体的に売上を落とす結果となった。</p> <p>東部・中部地域の食品スーパーへの聞き取りでは、天候不順のため生鮮品の相場が高く売上が落ち込んだ。西部地方の専門店への聞き取りでは、気温が下がり衣料品の売上が回復しなかったものの、宝飾品、時計、靴及びバッグは前年並みの売上だった。</p> <p>9月の県内商店街では、地元大学生が企画した商店街での飲食イベントや、愛好家が漫画及びアニメのキャラクターのコスプレ姿で歌やダンスを披露するイベント等が開催され、各商店街への誘客が促進された。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>平成28年9月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約37万人で、前年同月比22.8%減となった。今年は、シルバーウィークが飛び石連休となったほか、台風や前線の影響から雨が多かったことなどにより、入込客が大幅に減少した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約68万台となっており、前年同月に比べて2.2%減となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

= IVデータからみた県内主要産業 =

<二輪車>

	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完成車生産台数(台)	20,329	22,973	22,614	20,913	16,802	16,487	16,815	13,421	13,818
前年同月比(%)	2.7	8.5	4.8	35.0	22.5	9.7	▲10.4	▲11.1	▲26.4
KD輸出額(百万円)	740	719	706	646	535	760	677	762	672
前年同月比(%)	▲34.4	▲28.8	▲31.5	▲36.7	▲42.9	▲7.6	▲25.9	7.7	▲15.4

<楽器>

	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生産総額(百万円)	3,349	3,607	3,821	3,837	3,376	4,157	3,817	3,309	3,851
前年同月比(%)	▲1.0	5.5	4.4	▲2.8	▲9.3	▲2.5	▲10.3	1.7	4.2

<缶詰>

	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
食缶生産高(千ケース)	835	849	1,015	1,023	1,019	1,112	1,031	983	1,069
前年同月比(%)	5.7	▲4.5	8.6	11.0	15.0	5.9	2.5	14.9	18.0
うち水産缶詰(%)	3.8	▲0.9	▲1.4	0.6	3.7	0.4	▲0.7	10.7	9.7
農畜産缶詰(%)	11.1	▲13.0	40.9	45.5	55.5	23.1	12.1	30.6	51.7
飲料缶生産高(千ケース)	4,321	5,128	7,176	7,924	8,363	7,714	8,479	7,428	7,146
前年同月比(%)	▲12.6	▲1.4	2.9	0.4	6.9	▲12.0	▲1.8	3.6	0.2

<繊維>

	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
広幅織物(千㎡)	1,613	1,447	1,462	1,511	1,203	1,196	1,133	1,135	1,458
前年同月比(%)	11.7	▲4.1	▲3.7	▲0.5	▲1.5	▲2.3	▲1.4	3.4	8.2
小幅織物(千㎡)	33	37	37	37	33	30	28	26	30
前年同月比(%)	▲9.0	▲4.0	▲1.6	▲5.1	▲16.4	▲20.1	▲22.3	▲20.8	▲24.7

<観光>

	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
観光施設(10施設)入込 (千人)	282	261	500	510	654	330	363	552	369
前年同月比(%)	11.8	7.0	6.9	15.3	▲3.0	▲3.9	19.4	1.2	▲22.8
有料道路(5路線)通行量 (千台)	647	682	760	684	732	649	755	862	677
前年同月比(%)	3.9	12.5	0.0	5.2	2.1	4.1	6.5	1.8	▲2.2

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成28年11月号 通巻487号

発行 静岡県経済産業部
平成28年11月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>